

FIP制度の開始に向けて

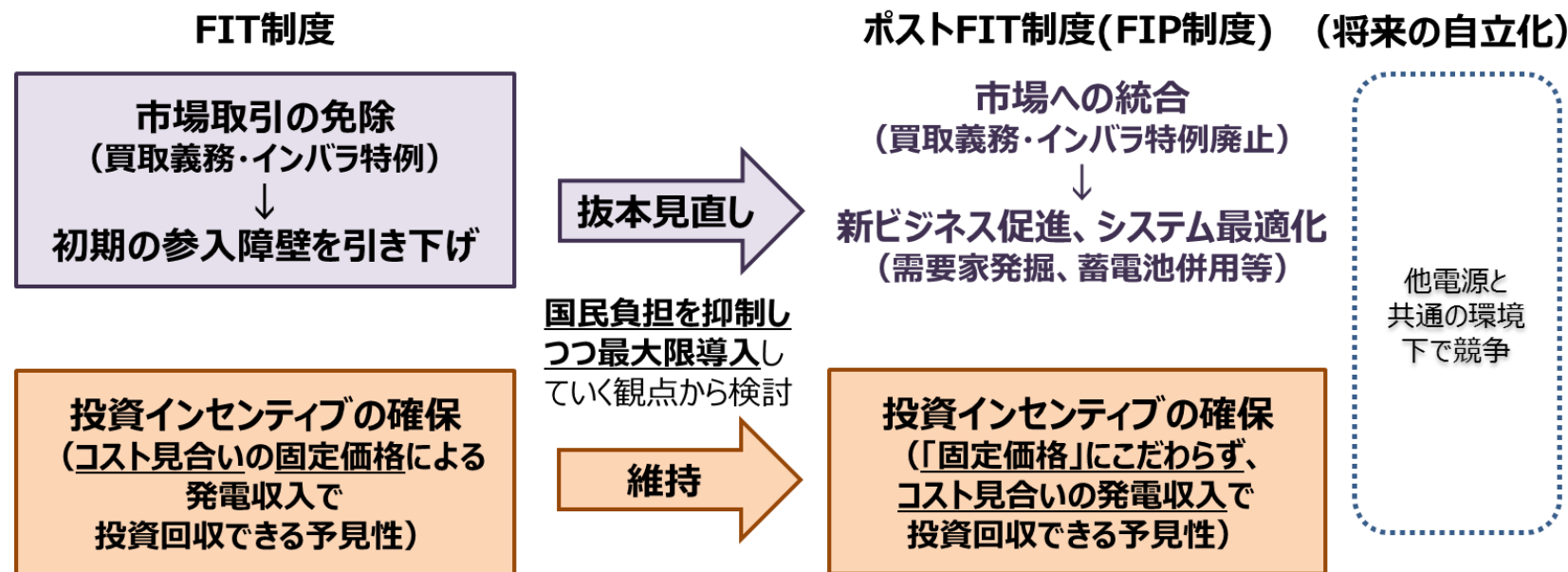
2022年1月
資源エネルギー庁

本資料の位置付け

- **本年4月のエネルギー供給強靱化法の施行により、再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会等において詳細設計を実施した、FIP制度が開始**される。
- 本日は、来年度からの円滑な制度導入に向けて、**制度開始に向けた具体的スキームとFIP制度の情報公開、シミュレーションツールの公表についてご報告**させていただきたい。

FIP制度の概要

- FIP制度は、再エネの自立化へのステップとして、電力市場への統合を促しながら、過度な国民負担と
ならないように配慮しつつ、投資インセンティブが確保されるように支援する制度。FIP制度が、FIT制度
から他電源と共通の環境下で競争する自立化までの、途中経過に位置付けられるものであることを踏
まえ、FIP制度を構成する各要素について、FIT制度から他電源と共通の環境下で競争するまでの途中
経過に位置付けられるように詳細設計を実施。
- また、FIP制度を通じて電力市場への統合を進めていく趣旨からは、電力市場への統合が進むか、電力
市場全体のシステムコストが低減する方向に働くか、といった観点が重要。こうした点を踏まえ、FIP制度
を取り巻く各要素が電力市場をなるべく的確に反映するように詳細設計を実施。



(参考) FIP制度における基準価格とプレミアム

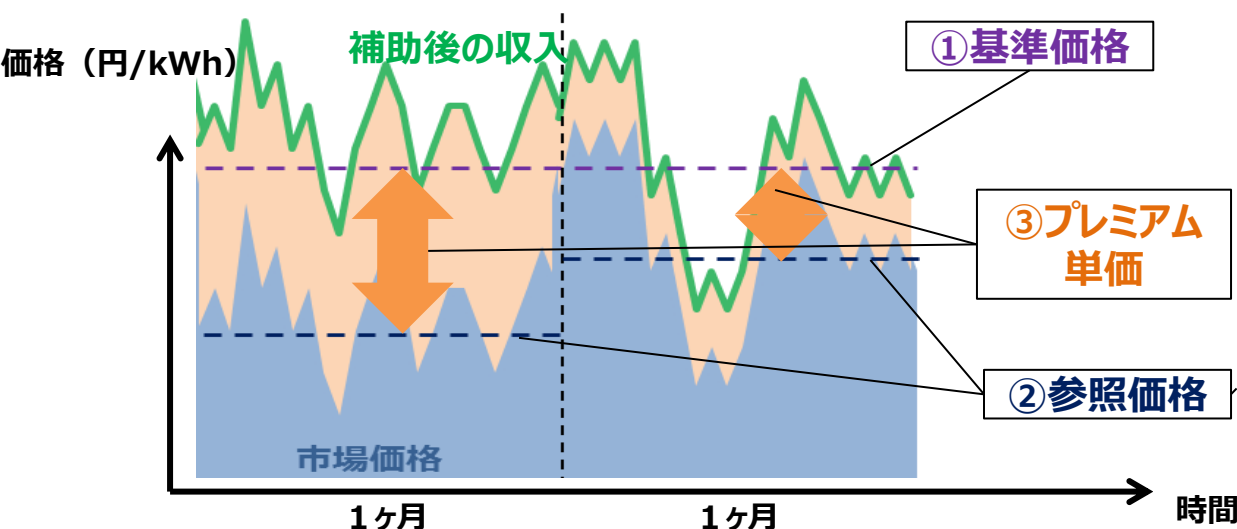
4

- FIP制度は再エネ電源の投資インセンティブを確保しつつ、市場統合を促しながら、電力市場全体のシステムコストの低減を図るもの。
- FIP制度における基準価格（FIP価格）は、FIT制度における調達価格と同じく、再生可能エネルギー電気の供給が効率的に実施される場合に通常要すると認められる費用等を基礎とし、価格目標その他の事情を勘案して定めるものとされている。
- プレミアム（供給促進交付金）の額は、基準価格（FIP価格）から、参照価格（市場取引等により期待される収入）を控除した額（プレミアム単価）に、再エネ電気供給量を乗じた額を基礎として、1ヶ月（交付頻度）毎に決定される。

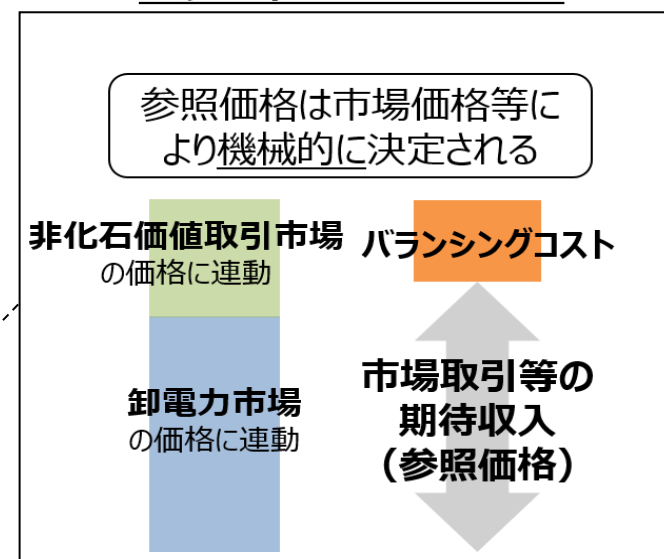
再生可能エネルギー大量導入・次世代ネットワーク小委員会／再生可能エネルギー主力電源化制度
改革小委員会 合同会議 中間整理（第4次）より抜粋

<プレミアム単価の算定イメージ>

$$\textcircled{1}\text{基準価格} - \textcircled{2}\text{参照価格} = \textcircled{3}\text{プレミアム単価}$$



<参照価格算定方法>



(参考) 価格変動に対応したビジネスモデル

再生可能エネルギー大量導入・次世代ネットワーク小委員会／再生可能エネルギー主力電源化制度改革小委員会 合同会議 中間整理（第4次）より抜粋

5

- FIP制度ではFIT制度程度の投資インセンティブは維持されており、事業者の創意工夫による収益向上も見込めるが、市場価格変動リスクにより月単位や年単位では収入が変動する。円滑な案件形成のためにはこうしたボラティリティを踏まえたビジネスモデルを構築していくことが必要。

ビジネスモデル例	契約形態など
(1) 小売電気事業者と相対契約を結ぶケース	■ 小売電気事業者と直接契約を結ぶケース。 ■ 固定的な売電契約により発電側の収入は安定。（小売電気事業者によるリスクテイク） ■ 他電源も活用した柔軟なBG組成により変動リスクを緩和。
(2) アグリゲーターが仲介するケース	■ アグリゲーターが仲介するケース。 ■ 発電事業者とアグリゲーター間で固定的な売電契約を結ぶことで、発電側の収入は安定。 ■ 他電源や需要家側のリソースを活用してアグリゲーターがFIP電気を売電（アグリゲーターによるリスクテイク）
(3) スポンサーから資金提供を受けるケース	■ 発電事業者が金融機関以外の変動リスクを許容できるスポンサーからエクイティファイナンス等を獲得するケース。 ■ スポンサーはFIP事業の価格変動に伴う収益等を獲得。（スポンサーによるリスクテイク）

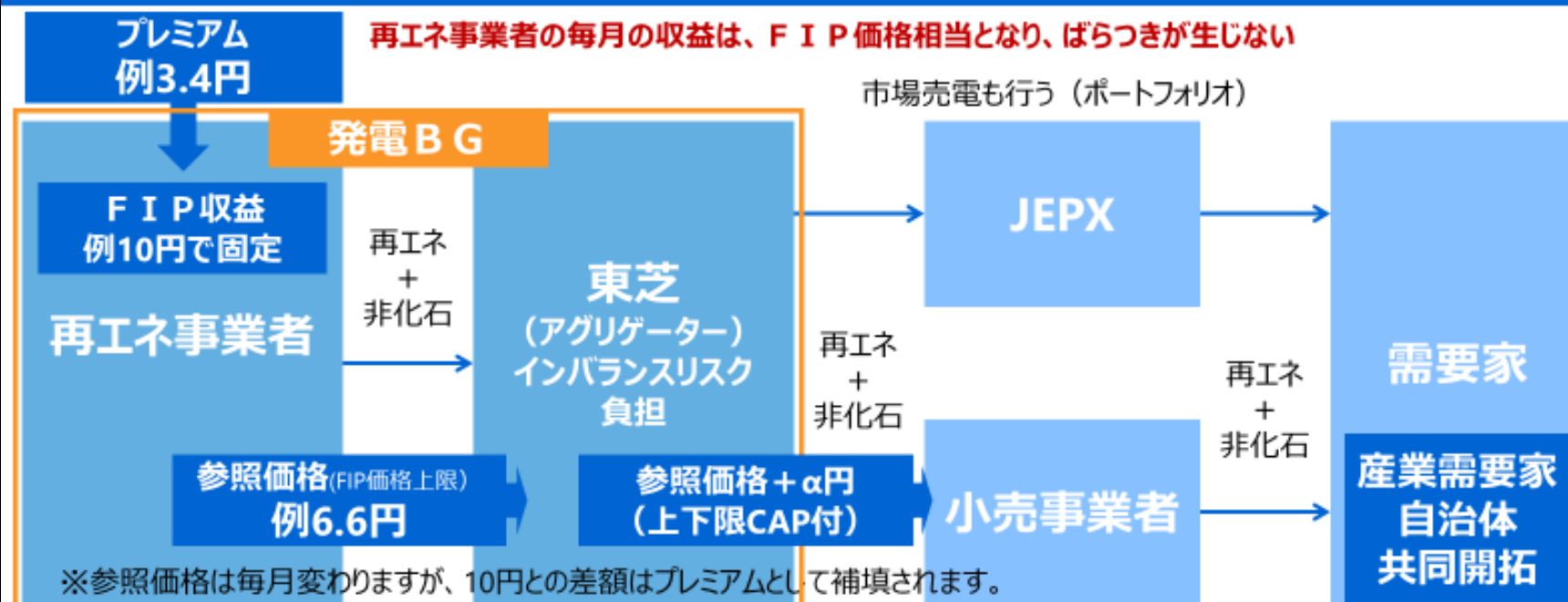
赤：資金の流れ 緑：電気の流れ

FIP制度 国内取組紹介①（東芝ネクストクラフトベルケ）

- データを活用した高度な予測、最適取引、制御によって発電事業者の収益安定化と小売・需要家に対する安定した再エネ電源の供給を実現。
- アグリゲーターが参照価格で買取、インバンスリスクを負担することにより、**擬似的なFITスキーム**を構築し、FIP発電事業者に価格変動リスクを負わせないことが可能。

商流（例）

オフサイトPPAとして自治体や産業需要家へ相対で供給することができる



※出力制御を考慮しない調整前参照価格となります。
毎月変動。

オフサイトPPA（フィジカル）

FIP制度 国内取組紹介② (エナリス)

- アグリゲーター兼小売電気事業者としてインバランスリスクを負担。
- **電力価値取引と再エネ価値取引を併せて相対契約**で取引することで発電事業者の負担を軽減。
- 電力・再エネ価値取引をまとめてアグリゲーターと行い、インバランス調整をアグリゲーターが代行することでFITと変わらない業務負担で事業が可能。

エナリスの再エネ支援サービス



再エネ発電所の電力・再エネ価値取引から、再エネ電力の利用までを支援

FIP案件形成のための情報公開・シミュレーション

- **案件形成の促進のため、FIPのシミュレーションに活用したエクセルファイルを、今般資源エネルギー庁HPに公開予定。**本ファイルを活用して、諸元となる要素（基準価格、供給実績、市場価格の見通し）を変更することで、**様々な条件におけるFIP制度の収入を算出することが可能**となっている。
- また、こうしたシミュレーションに必要となる**プレミアム算定諸元のHPへの一元的な集約**も併せて実施する。

<シミュレーションツールイメージ>

